

情報公開文書

Ver1.0 2020 年 6 月 18 日

Ver2.0 2020 年 9 月 10 日

2000 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日までに当科で胃癌に対して外科治療を受けられた患者さんへ

1. 研究の名称：多国間における胃癌の臨床病理学的特徴および予後の比較検討
国際共同後ろ向き観察研究
2. この研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。
3. 研究機関

3.1 研究グループ

本研究グループは、韓国 Yonsei 大学外科で WooJin Hyung 教授から手術指導を受けた外科医から構成される多国間多施設グループです。

3.2 研究グループ代表者

WooJin Hyung

Yonsei 大学 外科 教授

Department of Surgery, Yonsei University College of Medicine

50-1 Yonsei-ro, Seodaemun-gu, Seoul 03722, Korea

3.3 研究責任者

小濱和貴

京都大学 消化管外科 准教授

〒606-8507 京都市左京区聖護院河原町 54

3.4. 共同研究者

Yanghee Woo, M.D.

Division of Surgical Oncology, Department of Surgery, City of Hope National Cancer Center, 1500 East Duarte Road, MOB 1002H, Duarte, CA 91010

Guoxin Li, Chief surgeon, Director of Department

Yanfeng Hu, Associate Professor

Department of General Surgery

Nanfeng Hospital, Southern Medical University

1838 Guangzhou N Ave, Baiyun, Guangzhou, Guangdong Province,
China

Jian-Kun Hu, Professor

Kun Yang, Associate Professor
Department of Gastrointestinal Surgery
West China Hospital, Sichuan University
No.37 Guoxue Alley, Wuhou District, Chengdu City, Sichuan Province,
PR China

Christian Toso, Professor
Stefan Monig, Professor
Minoa Jung
Visceral Surgery Division
University Hospital of Geneva
Rue Gabrielle-Perret-Gentil 4, 1205 Genève, Switzerland

Felice Borghi, Chief
Alessandra Marano
Department of Surgery, General and Oncologic Surgery Unit
Santa Croce e Carle Hospital
Via Michele Coppino 26, Cuneo 12100, Italy

岡部寛 消化器がん腹腔鏡・ロボット手術センターセンター長
新東京病院 消化器外科
270-2232 千葉県松戸市和名ヶ谷 1271

田中英治 副部長
田附興風会 医学研究所 北野病院
530-8480 大阪市北区扇町 2-4-20

Bernice C. Navarro
Institute of Surgery, St. Luke's Medical Center-Global City
Rizal Drive cor. 32nd St. and, 5th Ave, Taguig, 132121 Metro Manila Philippines

Edmund Cedric A. Orlina
Department of Surgery, Rizal Medical Center
Pasig Blvd, Pasig, 1600 Metro Manila Philippines

Ali Guner, Professor of Surgery
Dept. of General Surgery, Division of Upper GI Surgery &
Institute of Medical Science, Dept. of Biostatistics and Medical Informatics
Karadeniz Technical University-College of Medicine
61080 Trabzon Turkey

Andres Navarette

Surgery Department, Hospital Militar de Santiago y Clínica Alemana

Av. Alcalde Fernando Castillo Velasco 9100, La Reina, Región Metropolitana,
Chile

4. 研究の目的・意義

4.1 目的：多国間で胃癌における患者背景、発生部位、治療方法、予後を後ろ向きに比較検討します。

4.2 意義：地域により特徴が異なる胃癌の各地域ごとの特色をまず把握することは、それぞれの地域での胃癌に対する最適な治療法を導き出す礎となります。

5. 研究実施期間：倫理承認日より 2023 年 12 月 31 日まで

6. 対象となる試料・情報の取得期間

2000 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日までに京都大学医学部附属病院消化管外科において、胃癌に対して外科切除術を施行した患者さん。

7. 試料・情報の利用目的・利用方法

各施設が保有しているレジストリーを京都大学で収集し、統合します。そして個人を特定できない状態にして研究グループで共有します。

8. 利用または提供する試料・情報の項目

収集するのは、各施設がすでに保有しているレジストリー内のデータです。

患者背景：年齢、性別、併存疾患、居住地域、人種など

疾患詳細：腫瘍存在部位、組織型、進行度など

治療内容：術式、周術期管理、術前術後放射線化学療法など

術後経過：術後合併症や長期予後など

9. 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名

「3. 研究機関」と同じです。

10. 試料・情報の管理について責任を有する者

小濱和貴

京都大学 消化管外科 准教授

11. 研究対象者またはその代理人が求めた場合には、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止します。

12. 他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究計画書および研究の方法に関する資料の入手閲覧は可能です。京都大学消化管外科医局の下記問い合わせ先までご相談ください。

13. 研究は消化管外科研究助成金を資金源とし、利益相反については「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント」に従い「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査・管理します。

14. 【問い合わせ先】

京都大学消化管外科医局：075-751-3111(代)、研究担当：錦織、青山

京都大学医学部附属病院相談支援センター：
075-751-4748、ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp